

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2025年3月4日
作成 高齢者支援センター	堺第2
作成者	井口由紀子

1.開催日時	2025年2月21日	(金)	18:30	～	20:00
2.会場	小山市民センター ホール				
3.主催センター	堺2				
4.参加人数	32名				
5.参加者内訳	☒ 高齢者支援センター 7 人 ☒ 医療と介護の連携支援センター 2 人				
	☒ 医療関係者 11 人 (うち、医師 人) ☒ 介護事業者 7 人				
	☒ 民生委員 3 人 ☐ 老人会 人 ☐ 住民 人				
	☐ 町内会自治会 人 ☐ 警察 人 ☐ 行政 人				
	☒ その他 (堺地域障がい者支援センター、Oごとサポートセンター)				
6.開催テーマ	おひとり様でも安心して最期を迎えられる地域にするには(人生会議を考える)				
7.地域課題	(1)課題設定の背景 2022年4月に身寄りの全くない方が救急搬送され、他市の病院でお亡くなりになる案件が発生した。未払金や家の片づけ等を巡って、サービス事業所、大家、地域住民から様々な相談が支援センターに寄せられ、身寄りがいない方の死後事務が委任されていなかったことで、地域の支援者に大きな負担が強いられることがセンターにて再認識された。 (2)検討した地域課題 会議を重ねることで意思決定の難しさや大変さを支援者である専門職が研修を通じて「自分ごと」としてとらえることができた。前は地域住民も参加しACP・私の思い手帳を学び、意見交換を行ったが、医療の意思決定についてのハードルの高さや私の思い手帳の手に取り難さや持ち歩き難さから敬遠されがちである。				
8.会議の内容	1. ACPについての研修 羽成先生の資料を元に人生会議についての再度の説明 2. リーフレット(チェックシート)試作品を実際使用しての意見交換 おおよその意見として使いやすい、手に取りやすいと好評価を得たが、地域住民には質問が難しいのではないかと意見も出た。 3. 地域に普及するための工夫やアイデアについて クリニックや薬局などの待合室に設置、ポスターの貼布、一緒に書く、若い人でも手に取れる工夫、もっと簡略に、言葉が難しい、QRコード使用し書き方説明、などの意見がでた。調整できるものは検討していく。				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	ACP導入用リーフレット(チェックシート)については、概ね好評であった。手に取りやすい資料ということでお薬手帳ケースに収まる大きさで作成した。もう少し見やすい色使いにするなど微調整を行うこととし、地域に向けて、普及活動を推進していく。普及啓発にあたっては、町内会単位で自己決定支援の勉強会や地域ケア会議を開催していく。また、ケアマネをはじめとする専門職の皆さんには、専門性を活かした情報提供やリーフレット(チェックシート)の活用を通してACPの拡大に協力頂く。地域のクリニックや薬局に協力を依頼し、ポスターの作成・掲示とリーフレット(チェックシート)の設置をすすめる。				
10.その他					

医療と介護の連携支援センター 確認日	3月 4日
--------------------	-------